

## 第1回 小金井市産業振興プラン策定委員会 議事録

日時 令和7年7月25日（金）午後2時30分～午後4時30分

場所 小金井市役所本庁舎3階第一会議室

---

出席委員 11名

委員長	中庭光彦	委員
副委員長	西川亮	委員
委員	佐藤剛	委員
	中根里美	委員
	橋本佳菜美	委員
	山口清	委員
	鴨下敏明	委員
	渡邊恭秀	委員
	今井哲一郎	委員
	益田智史	委員
	渡邊雅毅	委員

---

事務局	市民部長	深澤 亘
	経済課長	島田 泰吉
	経済課産業振興係長	田中 達也
	経済課産業振興係主事	市原 一典
	株式会社国際開発コンサルタンツ	氏原 茂将
	株式会社国際開発コンサルタンツ	伊藤 彩夏

---

傍聴者 1人

## 議事

### 1. 開会（午後 2 時 30 分）

市民部長よりあいさつを行った。

市民部長           産業振興プランは、産業振興を目指すべき方向性や取り組みを整備することを目的として策定するプランとなる。皆様にご協力をいただきながら、進めていきたい。

### 2. 委嘱状交付

机上にて委嘱状を交付した。

### 3. 委員紹介

委員並びに事務局が自己紹介を行った。

### 4. 委員長及び副委員長の選出

選出方法について、委員より意見等が無かったため、事務局より、中庭委員を委員長に、西川委員を副委員長とする提案を行い、委員からの承認を得た。中庭委員長・西川副委員長があいさつを行った。

中庭委員長           委員の皆様から忌憚のないご意見をいただきたい。風通しの良い委員会になるほど、良い計画になると思っている。現行計画は、コロナ収束直後に策定されたため、賑わいが今後も続くか不透明な中での計画となった。地方創生 2.0 の時代だが、全国的に人口減少が激しい。一方、東京 23 区への転入者が多く、小金井市は東京一極集中の恩恵を受けていると考える。小金井市の高齢化率は、ほかの地域より低く、再開発等の効果が出ていると言える一方、出生率が減少している。小金井市には人口減少の対策を練る時間的余裕があるので、この 20～30 年で福祉、農業などを含めた産業振興策を検討するべきである。各事業者が繋がり合いながら、どこに重点的な投資をするのかを考えるのが本来の産業振興計画である。これから策定するのは小金井市の計画であるが、より広域的な視点で考えると面白い計画になる。皆様自身も面白いと思える計画を策定したい。

西川副委員長       居住と勤務先が小金井市ではないので、小金井を外からの見ている立場になると思う。「観光」という言葉は幅広い意味がある。一般的には、非日常の空間に行くことを意味するが、当たり前の日常で見えていなかった地域の価値を再認識し、それが「この街は楽しい」と思えば、非日常的な「観光」と同じように街を楽しむことができるかもしれない。コロナ禍では、地元を楽しむことが観光につながるのではないかという視点の議論があり、道草市も地元を楽しむという動きだと思う。地元の住民が、地元の楽しみ方を考えていただくような機会があればいいと思う。産業に限らず、自由な発言をしていただきたい。また、前回のような親しみやすい計画にしたい。

## 5. 小金井市産業振興プラン策定委員会の運営方法等について

事務局が、資料3を用いて委員会の運営方法について説明を行った。運営方法のうち議事録について、発言者の発言内容ごとの要点記録を事務局が提起し、委員からの承認を得た。

## 6. 議題

### (1) 現行プランの取組状況報告

事務局が現行プランを用いて、新プラン策定の経緯、現行プランの内容を説明し、資料4を用いてスケジュールの説明、資料5を用いて、現行プランの取組状況の説明を行った。

- |              |  |
|--------------|--|
| 中庭委員長<br>事務局 | 小金井市としては、現行プランのこの4年半をどのように捉えているのか。<br>現行プランについては、コロナの影響を受けながら、課題も一定認識しているところであるが、イベントにおいては、商店会の皆様や各団体の方々に、そのような状況下においてもまちの賑わいを引き続きつくっていただいたことに感謝する。また、道草市などの良い取り組み事例も生まれた。新プランの策定については、現行プランの良いところを引き継ぎながら、具体化できる計画も盛り込んでいければと考えている。 |
| 中庭委員長<br>事務局 | 新プランは、現行プランよりも具体性を高める方針でよいか。<br>現在も社会情勢が目まぐるしく変化しているなど、どこまで具体化できるかはあるが、そのような認識である。   |
| 佐藤委員         | 現行プランの課題として、小金井市の都市計画が市内の新規事業を立ち上げの難しさに影響しているとの記載があるが、店舗併用住宅であれば、住宅系の用途地域でも出店が可能であると思う。住宅街でひっそりと営業をしているお店があるなど、意外な発見があるまちが面白いと思うので、用途を住居系と商業系を明確に分けるのが良いことなのか、疑問に思う。   |
| 中庭委員長<br>事務局 | 事務局としては用途地域の変更をどのように捉えているのか。<br>変更となれば、関係課との連携も必要になる話であるが、ここでは、緩和的な考え方における方法なのかなと考える。都市計画課との連携を図りながら用途の緩和制度を活用し、ミクストユースの考えを取り入れた取組ができると、佐藤委員がおっしゃったような面白いまちになると思う。   |
| 鴨下委員         | 振り返りの評価では、観光まちおこし協会に関する内容の比重が大きく、商工会へのヒアリングが不足している。産業振興プランであることを踏まえると、全体的な評価をするべき。また、コロナ禍から商店会の賑わいが戻ったという話があるが、閉店した店舗に新たな店舗が入れ替わる形で出店しているのが現状である。問題は、コロナ禍で地域のコミュニティが崩れたことであり、祭りで人が集まったことが賑わいの回復を意味するとは限らない。                          |
| 事務局          | 本日の資料は、関係課と観光まちおこし協会から文章で評価をいただいた限りの内容である。今後は、商工会や商店会、農業者等の方々へのヒアリングを想定している。   |

渡邊(恭)委員	農工大のベンチャーポートは商工会も支援をしており、そこで育った企業が市外に出てしまうことが課題であると聞いている。
中庭委員長	商業・工業基礎調査から、住宅の増加に対して商店が増加していないということは、量販店の集客が大きいことが読み取れる。買回り品が市外で行われているなかで、小金井市の産業をどのようにするべきかを意見交換したい。
渡邊(恭)委員	当時、蛇の目ミシン工業（株）があったあたりにマンションが建設され、工業地帯がなくなったが、代替となる施設や機能がないことが課題であると思う。
鴨下委員	ベンチャーポートの入居者に対する市のアプローチが少なく、条件もあまり魅力がないため、企業が市外へ流れているのではないか。また、個人商店の商品開発に対するバックアップが必要だと思う。
中庭委員長 事務局	市は、ベンチャーポートと情報交換を行っているのか。 令和６年度ぐらいからベンチャーポートの入居者と研究成果の報告会を実施しており、研究補助に関するアプローチをしているが、実を結んでいない。
中庭委員	鴨下委員のご発言にあった「魅力について」という点について、具体的にどのような点を指しているのか伺いたい。
鴨下委員	小金井市らしさがほしいという意味合いでの発言だった。例えば、商店街が来街者とのコミュニケーションを図りながら防災に取り組むことで、安心なまちづくりにつながる良い事例もある。
今井委員	現行プランの評価は、策定時の委員にも確認してはどうか。経済課にプランを専属で担当する職員がいても良いと感じるほど、重要なプランであると考えてるので経済課の職員を増やしても良いと考える。委員会の年間スケジュールも示していただきたい。
鴨下委員	経済課の増員に賛成である。小金井公園の管理者である東京都から、交通渋滞やゴミ問題を理由に、市民まつりや桜まつりの開催に否定的な意見があった。このような場合や賑わいの創出に関する取組では、市が先頭に立って調整・交渉をしていただきたい。
中庭委員長	現行プランの p21 に「年度ごとに重視する取組を位置づけ、その取組の成果と課題を振り返り、翌年度の事業展開につなげます」と記載されているが、十分に実行されていないと考えられるので、新プランでは、委員や事業者が市に働きかける必要がある。

## （２）新プラン策定の方向性について

事務局が資料６を用いて、新プランの策定方針を説明した。

山口委員	予算がついたものを事業と呼ぶのか。
事務局	その通りであるが、予算がない事業も一部ある。
中庭委員長	事業には、大きな目的としての「政策」があり、その下に「施策」があり、さらにそれを具体化したものが「事業」である。策定委員会で考えるべきことは、施策と具体的な事業である。次回以降の委員会では、委員の皆様から、具体的な取り組みについて、このようなものがあればといった意見を出していた

	だきたい。また、投資すべき施策であるのか否かについてもご意見をいただくと、議論がしやすくなると思う。
渡邊(雅)委員	選出団体に持ち帰り、意見を集約してきた方が良いのか。
中庭委員長	各委員の個人の意見で良いと思う。
益田委員	頑張っている事業者を応援する仕組みが整い、その仕組みを利用する人が増えると面白いまちになると思う。新プランでは、具体的な施策を具体的な文言で記載したい。
中庭委員長	基盤産業と非基盤産業のそれぞれに頑張ってもらう必要があるので、それぞれのアイデア出しができると良い議論になると思う。
佐藤委員	計画年度が現行プランと新プランの期間が異なるのはコロナの影響か。
事務局	現行プランは、上位計画の期間と合わせていることもあり、コロナの影響から延伸しているので、4年間のプランになった。

## 7. その他

事務局より以下を伝えた。

- ・次回委員会は8月20日（水）午後6時から東小金井駅開設記念会館で開催予定である。
- ・次回以降の開催通知はメールで送る。
- ・第3回以降の開催日程調整を別途行い、年間スケジュールを決める。

## 8. 閉会（午後16時30分）